

令和7年11月17日

報道関係 各位

田辺市企画部 人権推進課
課長 前嶋 幸司

田辺市20周年記念 令和7年度人権を考える集い -安田菜津紀 講演会

「紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から見えてきたこと～」-の開催について

田辺市・田辺市教育委員会・田辺市人権擁護連盟の主催で「人権を考える集い」を下記のとおり開催しますので、報道の方よろしくお願ひいたします。

記

1. 趣旨 すべての人の人権が尊重される平和で明るい社会の創造をめざし、時宜に即した講演会を実施することにより、人権問題に対する市民の正しい理解・認識を深めていくことを目的とする。2025年は、戦後80年、そして阪神淡路大震災から30年の節目の年にあたり、今年度は「命まもる人権」をテーマに、平和や命の大切さについて考える機会とし、市民の人権意識の向上を図る。
2. 日時 令和8年2月7日（土）
13:00 開場 13:30 開演
3. 場所 紀南文化会館 小ホール
4. 定員 先着400名／自由席
5. 入場料 無料（申込不要）
6. その他
 - ・一時保育を利用する方は、令和8年1月9日（金）までに田辺市人権推進課までお問い合わせください。対象は小学3年生までです。
 - ・要約筆記、手話通訳もあります。

詳しくは、別添付チラシをご参照ください。

お問い合わせ先

田辺市企画部 人権推進課 加藤・佐武
〒646-8545 田辺市東山一丁目5番1号
内線 2144
電話 0739-26-9912（直通）
FAX : 0739-24-8323

シリアでは長らく過酷な弾圧や戦争が続き、パレスチナ・ガザ地区ではイスラエルによる侵攻で多くの人々が犠牲になってしまった。果たしてそれは、海の向こうの、自分たちとは遠い問題なのでしょうか？ 東日本大震災で被災地で出会った人々のある行動が、遠いと思われがちな地との心の距離を縮めてくれました。こうした取材を写真でお伝えしながら、私たちがどんな未来を選んでいきたいのかを、改めて考えたいと思います。



「取材から見えてきたこと」

被災地に 生きる人々の声 紛争地、

＼講師／
安田 菜津紀 さん

認定NPO法人 Dialogue for People 副代表

フォトジャーナリスト

TBSテレビ「サンデーモーニング」に出演中
東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で
難民や貧困、災害の取材を進める

令和8年
2/7 13:30~15:00
(土) (13:00 開場)

■ 入場料

無料 (事前申し込み不要)

紀南文化会館 小ホール

■ 定員

先着 400 名

(定員になり次第入場制限いたします。)

災害時のイベント中止
判断について ▼

■ その他

- 手話通訳、要約筆記あります。
- 一時保育を希望される方は、1月9日（金）までに事務局にご連絡ください。
- 警報等が発表された場合は中止になる場合があります。



<https://www.city.tanabe.lg.jp/jinken/sizensaigai.html>

主催：田辺市・田辺市教育委員会・田辺市人権擁護連盟

事務局：田辺市役所 人権推進課

〒646-8545 田辺市東山一丁目5番1号

電話 0739-26-9912 (直通)

FAX 0739-24-8323

未来へつながる道
JUNCTION TO THE FUTURE
田辺市

ともに歩こう。次の1000年へ。